

タダノグループ中期経営計画(20-22)

TADANO LTD.

中期経営計画(20-22) INDEX

 TADANO
Lifting your dreams

I 部 事業の全体像

- 1. 事業の全体像
- 2. 経営理念
- 3. 企業の社会的責任(CSR)
- 4. ビジョン
- 5. コアバリュー
- 6. 事業領域
- 7. 長期目標
- 8. 重要方針
- 9. 4つの矢印
- 10. 事業特性

II 部 中期経営計画(20-22)

- 1. 中計(20-22)の位置づけ
- 2. 基本方針・重点テーマ
- 3. 基本方針
- 4. 赤い矢印
- 5. 青い矢印と赤い矢印
- 6. 重点テーマ
- 7. グループシナジー最大化(+TDG)
- 8. RISE
- 9. 耐性アップ
- 10. 競争力強化
- 11. ESG・SDGs推進

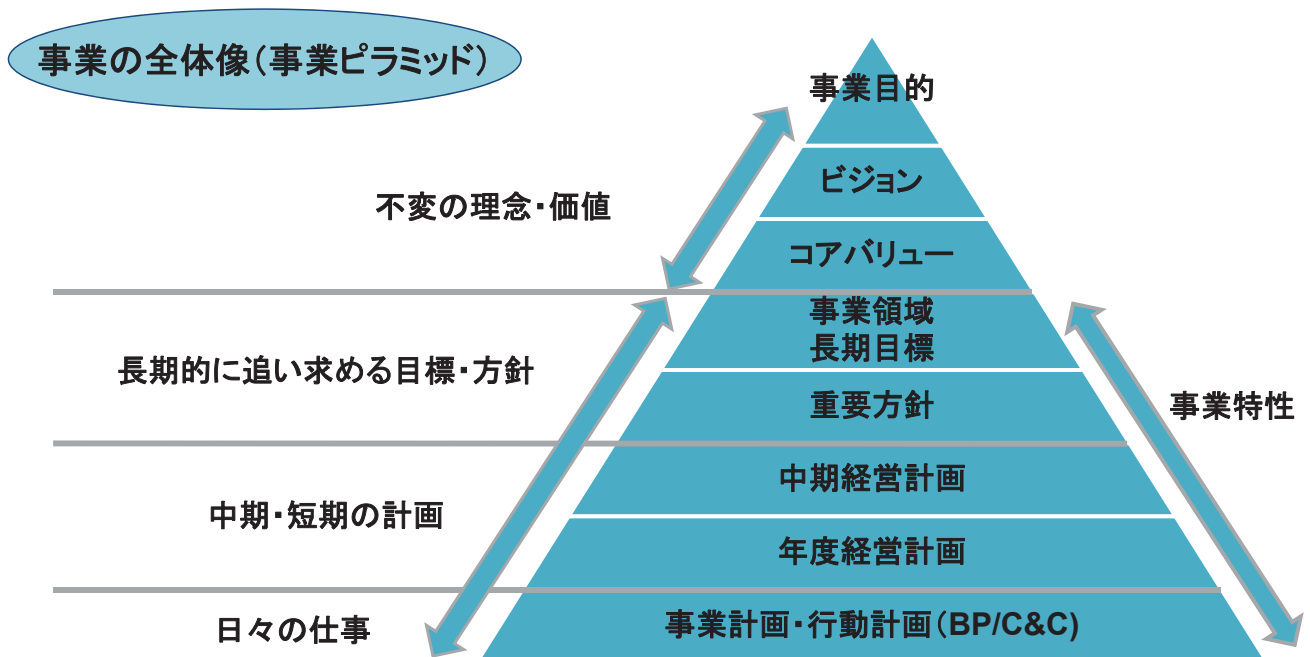
III 部 8つの戦略

- 1. 戦略
- 2. 数値目標

I 部 事業の全体像

2

I - 1. 事業の全体像



3

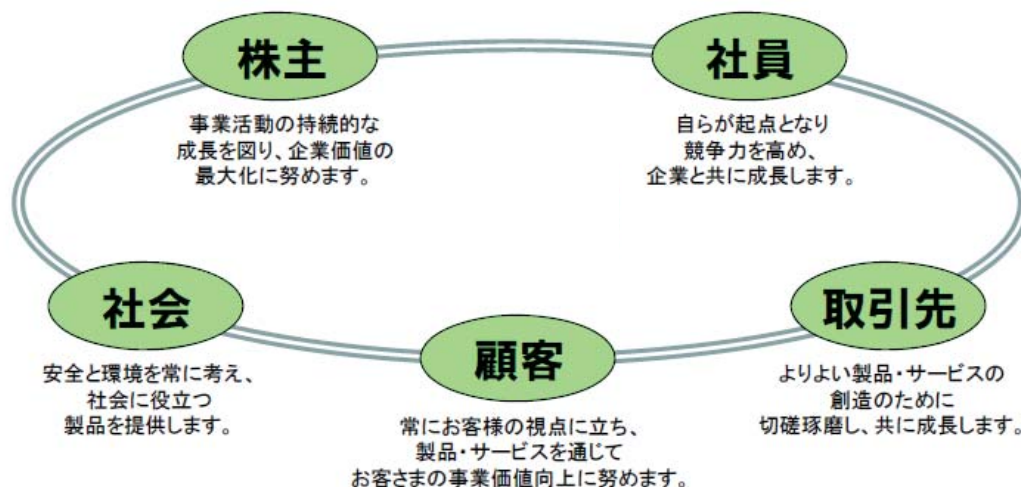
創造 工夫による前進と誇りうる品質のために創造しましょう

奉仕 顧客の利益と住みよい社会の建設のために奉仕しましょう

協力 私達の幸福と堅い心の結びつきのために協力しましょう

私たちタダノグループは、経営理念「創造・奉仕・協力」の実現を【事業目的】と位置づけ、それを「到達点のない永遠に目指すべきゴール」として、より高みを目指します。

全てのステークホルダー(利害関係者)の期待に応え、Win-Win の関係で調和を図り、企業価値を最大化します。



世界に、そして未来に誇れる企業を目指して

私たちタダノグループは、

- ・全てのステークホルダーの期待に応え、企業価値を最大化します。
- ・「学習し、成長し続ける組織文化」を構築します。

コンプライアンス

Compliance【C】法令・ルールを遵守し、高い倫理感をもって、公正・誠実に行動します

安全 Safety 【S】つくる人、扱う人、そして社会の人々の全ての安全を最優先します

品質 Quality 【Q】質の向上を追求し、製品・サービス・業務の品質を高めます

効率 Efficiency【E】業務効率を向上させるとともに、顧客の経営効率改善に寄与します

コンプライアンスは、すべての土台であり、法令や企業倫理の遵守だけでなく、広くは社会的な規範や要請に従うことです。

安全第一・品質第二・効率第三という優先順位はどんな時も変わりません。

但し、三番目の効率を抜きにして企業経営は成り立ちません。

そのためにも「安全第一」「品質第二」を何としても確保しなければなりません。

安全も、品質も、効率も、コンプライアンスという土台がないと確保できません。

(移動機能付)抗重力・空間作業機械
= Lifting Equipment (LE)

- ・LE世界No.1
- ・海外売上比率 80%
- ・安定的高収益企業(平時の営業利益率 20%)

安全衛生方針

顧客と社会に安全と安心をお届けするために

1. 災害ゼロを目指します。
2. 「心とからだの健康づくり」に努めます。
3. 内面からの安全意識を高めます。
4. 安全で働きやすい職場を追求します。
5. ルールを順守します。

10

品質方針

品質世界No. 1を目指す

1. 安全と品質を全てに優先します。
2. 社会と顧客に焦点を当てます。
3. 人質(じんしつ)と企業総合力を高めます。
4. TAS(製品安全標準)を徹底します。
5. 現場・現物・現実とスピードを重視します。

11

環境方針

人と機械と環境の調和を図り、幸せな社会づくりに貢献します

1. 環境に配慮した行動を大切にします。
2. 環境にやさしい製品を開発します。
3. 環境に配慮した事業活動に努めます。

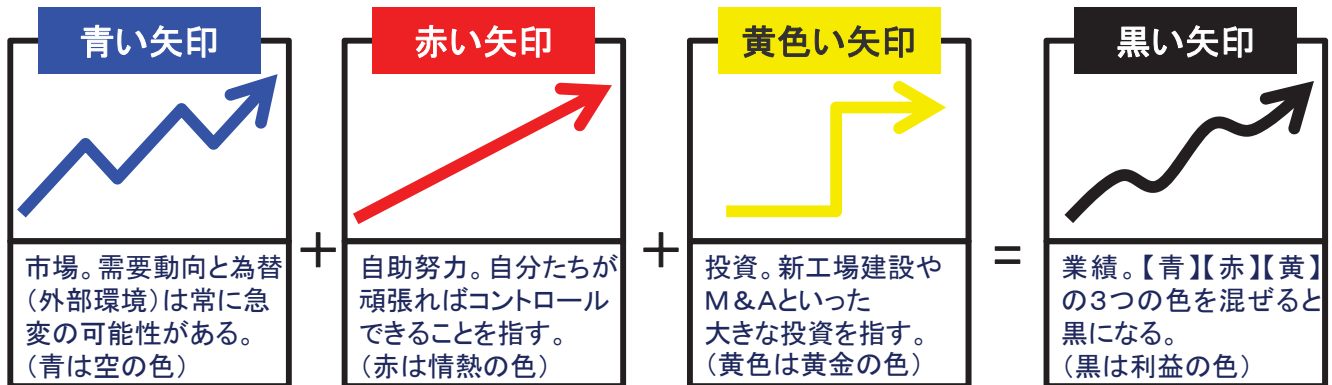
技術方針

Lifting your dreams ～全ては顧客と社会のために～

技術方針とは

- ① 開発の発想の原点である。
- ② 5つの機能、「安全な」、「高く・遠く・速く」、「意のままに動く(自動、知能)」、「作りやすい・壊れにくい・直しやすい」、「経済性」を追い求める。(5つの機能は相反することもあるが、それを乗り越えて優れた開発とする)
- ③ 5つの技術、「構造体」、「制御」、「動力・駆動」、「ICT」、「ものづくり」は、磨き続ける技術である。
- ④ 5つの技術を磨き、5つの機能を追求し、尖った商品を創出する。
- ⑤ 技術方針の実践を通じて、Lifting your dreams の実現を目指す。





世界の人口動態を考えれば、LEは成長産業

LE業界もタダノもポテンシャル 大

長期的には右肩上がりだが...

短中期的には需要はUp & Downを繰り返す



- | | | |
|-----------|------|---|
| ・複雑で難しい機械 | 部品点数 | 多 |
| | 加工精度 | 高 |
| ・需要 | 山谷の差 | 大 |
| ・部品売上比率 | | 低 |
| ・中古車価値 | | 高 |

II 部 中期経営計画(20-22)

中計(20-22)位置づけ

「LE 世界No.1へ向けて オーガニックな成長を」

- ・創業100周年を越えて次のステップへ
- ・LE 世界No.1へ向けて体制整備
- ・目指すは長期利益の成長

18

中計(20-22)基本方針

「誇れる企業を目指して(赤い矢印に集中)」

4つの重点テーマ

- ・グループシナジー最大化(+TDG)
- ・耐性アップ
- ・競争力強化
- ・ESG・SDGs推進

19

<< 基本方針 >>

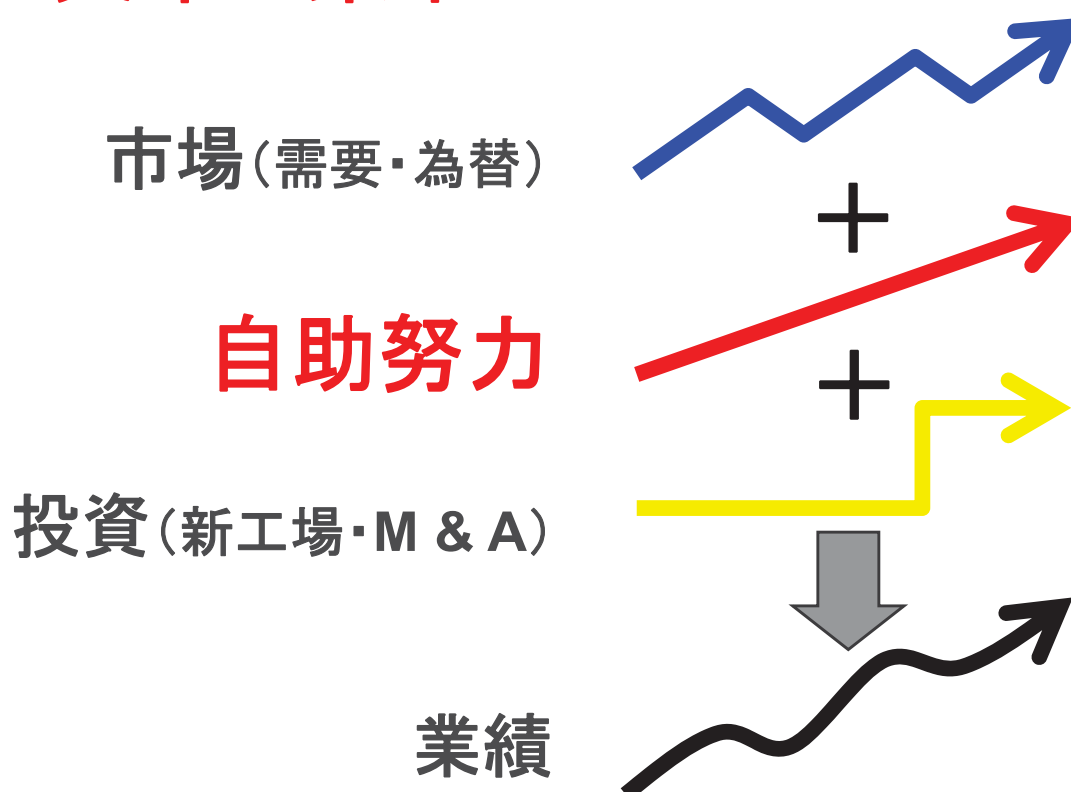
「誇れる企業を目指して(赤い矢印に集中)」

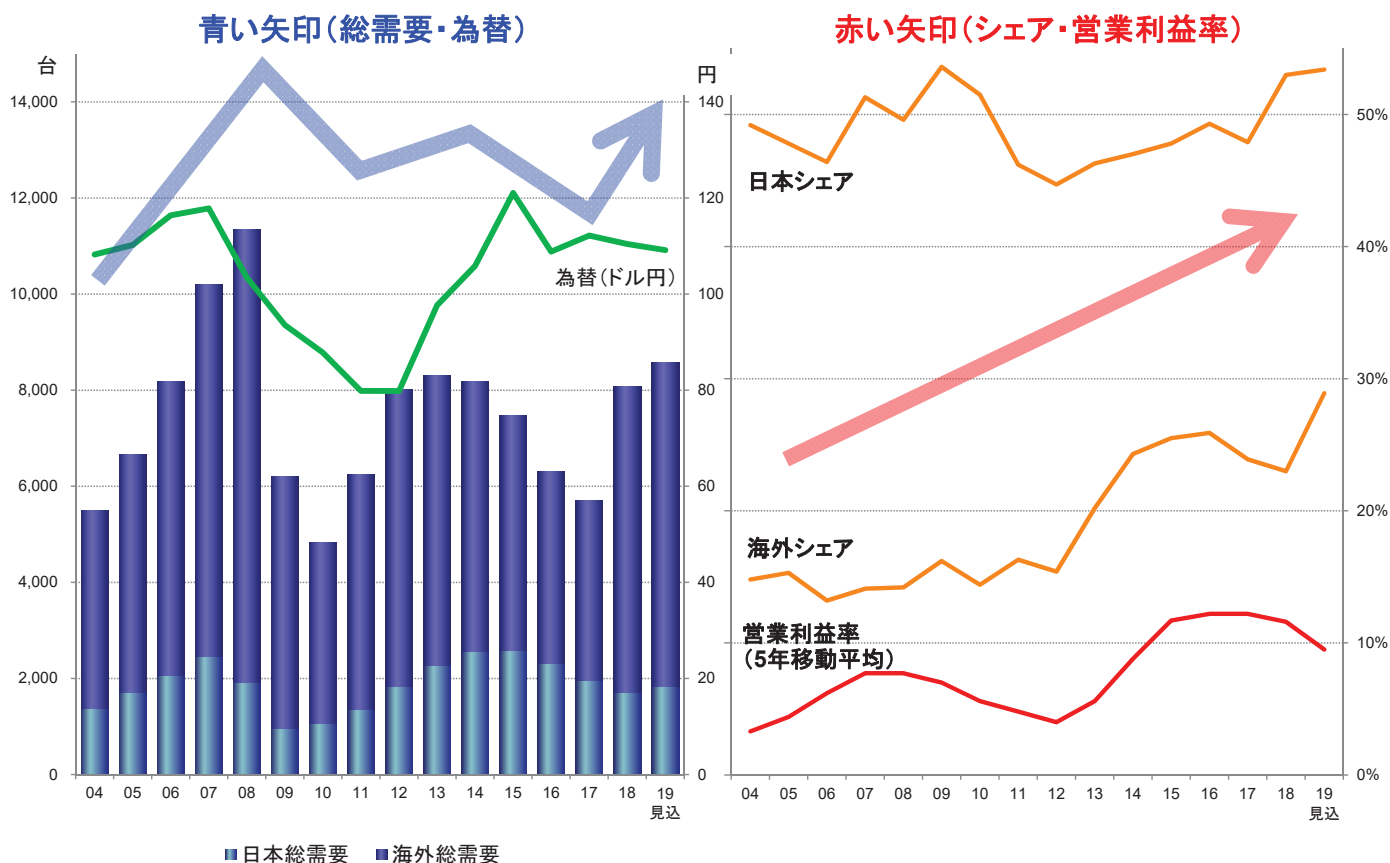
「誇れる企業」とは、

- ・強靱な企業であること
- ・進化し続ける企業であること
- ・顧客と社会のお役に立てる企業であること
- ・世の中から支持される企業であること
- ・そして、社員が誇りを持てる企業であること



赤い矢印に集中

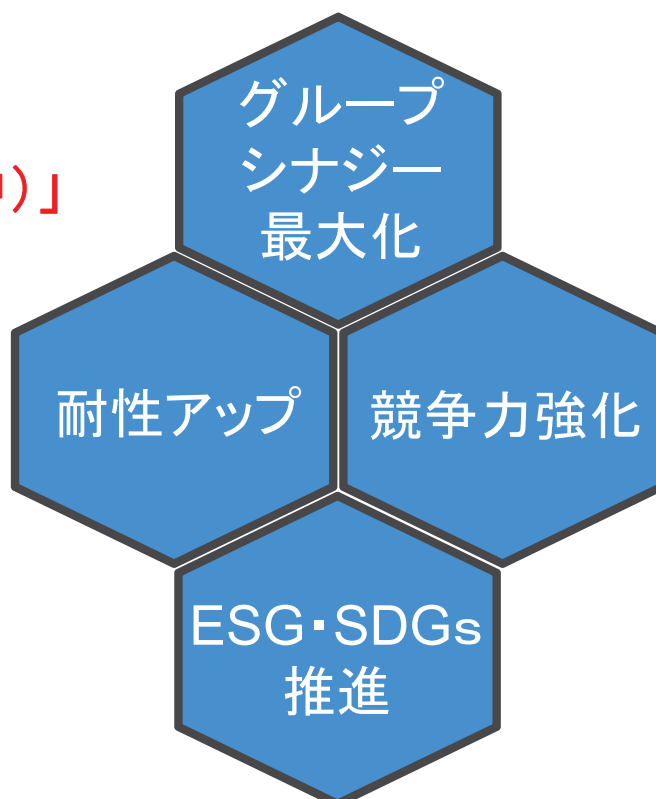




中計(20-22)基本方針

「誇れる企業を目指して
(赤い矢印に集中)」

4つの重点テーマ



ONE TADANO

グループ全体が共通の価値観を持った一つのチームになる

Wide & Deep

広くグローバル展開し、バリューチェーンを深掘りする

+TDG

RISE

Demag事業(TDG)買収に伴い、欧州事業を中心としたタダノグループとしての早期統合・シナジー効果発揮を行う

RISE

Revitalize (活性化)

Integrate (統合)

Synergize (シナジー)

Expand (拡大・成長)

6つの鍵

ふところ深く

需要の急激な減少に備えるためにも、常日頃から利益を大切にし利益率を高めること。

身軽に

適正在庫を維持しながらも、たな卸資産を出来る限り圧縮することで、常日頃から身軽にしておくこと。

柔軟性

固定費を可能な限り変動費化するとともに、リードタイムを短縮し、需要の急激な変化に柔軟に対応出来るだけの伸び縮み力を身につけること。

分散

製品セグメント・エリア・販売先や調達先など、各方面で一点集中を避けること。

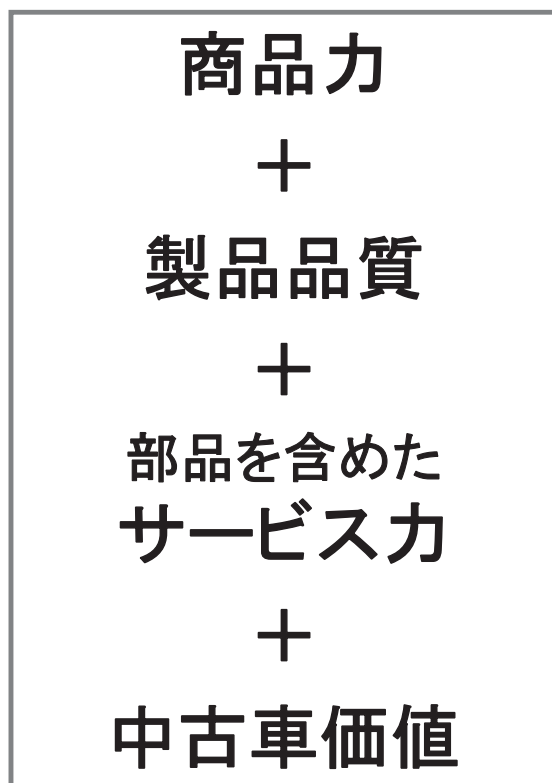
俊敏

常日頃から感度を高め、予測・準備を怠らず、両様の構えで、常にプランBを用意し何かあれば即時対応できるように体制を整えること。

質の向上

製品品質・業務品質・人質(じんしつ)の向上を図ること。
特に製品品質は企業の総合力そのものであり、維持向上には困難を伴う分、大きな武器となる。

四拍子そろったメーカー



・継続的に磨きこみ、
長期にわたって獲得していく
競争優位性

・**四拍子そろったメーカーに！**

当社は従来から「世界に、そして未来に誇れる企業を目指して」をビジョンとして掲げており、これはSDGsが掲げる趣旨と一致します。当社は「次なる100年」を見据え、さらに「誇れる企業」を目指し、ESG・SDGsへの取り組みを強化します。

創業当時からの「企業は社会や人との調和の中に生かされている」との考えのもと、ステークホルダーとの調和を重視し、社会的責任を果たします。

当社の強みは品質とサービス力であり、コアバリューはC+SQE（コンプライアンス＋安全・品質・効率）です。

製品・サービスを中心に「創る・造る・届ける・サービスする」というバリューチェーンを通じて、ESG・SDGsへの取り組みを推進します。

Ⅲ部 8つの戦略

中計(20-22)戦略

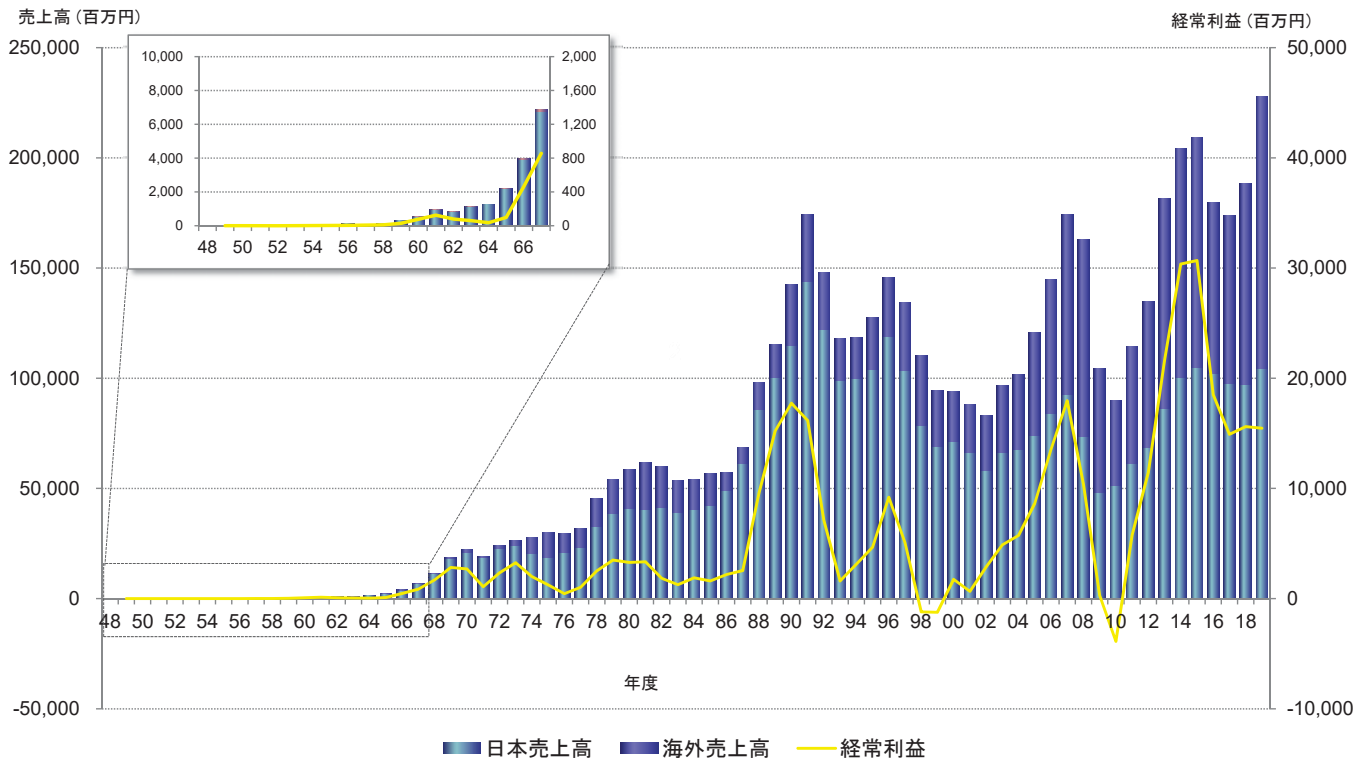
- ① 市場ポジションアップ
(RT迎撃・磐石化、AT再構築・追撃、TC日本・インド製進撃、CC進出、TBC再建、小型拡大、高所拡充)
- ② 四拍子強化
(商品力強化、感動品質追求、感動サービス提供、中古車グローバル化)
- ③ グローバル&フレキシブルものづくりへの取り組み
(伸び縮み力、分業、購買グローバル化)
- ④ ライフサイクル価値の向上(ストックビジネスの拡充)
- ⑤ 新技術取り組みとソリューションビジネス展開
- ⑥ 収益力回復・資産効率改善(営業利益率、CCC:たな卸資産圧縮)
- ⑦ グループ&グローバル経営基盤の強化(ONE TADANO、Best Practices)
- ⑧ 人財活用

CCC=Cash Conversion Cycle

30

Ⅲ－2. 目標数値

「中期経営計画(20-22)」の目標数値につきましては、新型コロナウイルスによる影響を適正かつ合理的に算定することが困難なため、現時点では未定とし、今後適正かつ合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示します。



・年度は期の開始年を示す 1986年までは9月～8月、1987年は8月～3月の7か月決算(上記は12カ月換算)、1988年以降は4月～3月
・1989年度からはグループ連結決算

ご安全に！